

豊田中学区小中一貫新設校についてのお知らせ



平成28年2月 第6号

小中一貫校（豊田中学区）推進委員会

●平成27年度 第4回推進委員会の結果概要

平成27年度第4回目の会議が、12月17日（木）に豊田公民館で開催されました。今回はアンケート結果を基に新設小学校整備の理念や基本目標、導入機能の検討を行いました。委員会内での質問については下記をご覧ください。



【平成27年度 第4回推進委員会で出た主な意見や質問等】

- ① 豊田中学校では現在、「いきいきふれあいセンターとよだ※」として使用している教室があるが、そのような部屋を新設校で用意する考えはあるか？

※概ね65歳以上を対象とし、趣味やレクリエーション、学習を通して、仲間と交流を行うことで閉じこもりを予防します。

→ 現在、高齢生きがい課が担当し、豊田中学校の給食室で毎週金曜日に開催している。新設校への「いきいきセンター」の設置は、豊田中で開催していることを考えると、難しいと考えられる。しかし、国では様々な複合施設を認めており、学校の中に地域の学童保育、公民館や交流施設などがある場合もある。今後、新設校で可能かどうか調査したい。

- ② 新設校の敷地内に将来的に中学校建設の可能性があるとの話があったが、どの程度可能性があるのか教えてほしい。

→ 将来的に同一敷地内で新設小学校に隣接、あるいは近接する形で整備していくことを視野に入れ、現在、進めている。

- ③ 新設校の整備理念(キャッチフレーズ)について、「安心・安全、清潔・快適、笑顔、元気、仲良く、楽しく、豊か」といったキーワードを上手く盛り込み、短く表現できないか？

→ 改めて検討し、提示させていただければと考えている。

- ④ 新設校に階段教室※は必要ではないか？ ※席が後方に行くほど高くなるよう、階段状に座席を設けた教室

→ 必要性については、今後、検討していきたい。

- ⑤ 新設校の小学校は、緊急時の避難場所になると思うが、9月の大雨で避難した大人たちから小学校のトイレは狭く使いづらいと聞いたので、新設校のトイレは、災害時に備え、大人も使えるスペースをとったものにした方がよいのではないかと？

→ 緊急時は体育館が避難場所となり、避難者は体育館や校舎内のトイレを使用すると思われる。体育館のトイレは地域開放も考え、配慮して設計していきたい。ただし、低学年の子どもには、大人向けの洋式トイレでは使いづらいことをご理解いただきたい。

- ⑥ 特別教室は、小学生と中学生が一緒に使用することになるのか？

→ 基本的に新設校は小学生の使用を考えているが、今後、検討していきたい。

- ⑦ 新設校における学童保育の想定規模(1.65㎡/人)は、保育施設基準では0歳児向けのものであり、学童保育施設は生活施設でもあることから、もう少し広くしてほしい。例えば、保育施設の3～5歳児の基準は1.98㎡/人である。

→ 学童保育における想定1.65㎡/人という値は、こども課から聞いた放課後児童クラブガイドラインにより設定したいものである。こども課と連携し、面積も含め検討していきたい。

- ⑧ 将来的に中学校が同じ敷地内に建設された際は、体育館は小学校と中学校で別になるのか？

→ 体育館やプールは共有することを考えている。例えば、バスケットゴールは上下動可能なものや、プールについても床が上下可動し、水深を調節できるものもある。設計段階に入ってから、皆様にお示ししていければと思っている。

● 豊田中学区新設校整備理念(キャッチフレーズ)について

皆様にご協力いただいたアンケート結果※を受けて、こどもたちの「安全・安心」で「清潔・快適」な学習・生活環境を確保し、子どもたちの「笑顔」が耐えない、「元気」で「仲良く」、「楽しく」過ごせる「豊か」な学校として、また、豊田地区の誇りとなり、みんなに愛される学校づくりを目指します。

また、ふさわしいキャッチフレーズを検討しています。決まり次第、皆様にお知らせいたします。



新設小学校をイメージする キーワード (※アンケート結果より)	
1 位	安心・安全
2 位	笑顔
3 位	元気
4 位	仲良し
5 位	楽しい

● 小中一貫教育の成果と課題【第3回(全3回に分けて紹介します)】 文部科学省の調査結果より

小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校に対し、平成26年5月に文部科学省がおこなった小中一貫教育の実態調査では、以下のような結果がみられました。皆様には、全3回に渡り、小中一貫教育の成果と課題についてお知らせいたします。今回は第3回目です。

小中一貫教育における成果

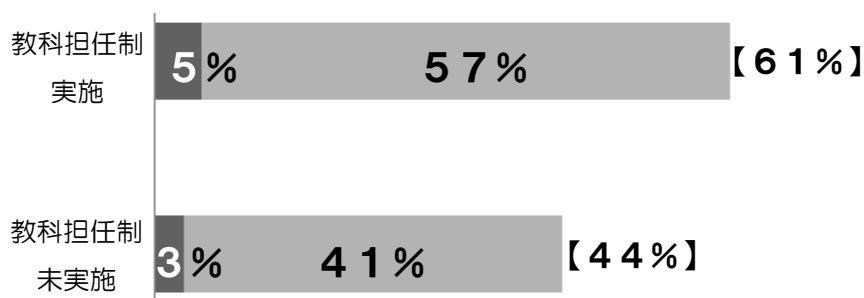
「小学校における教科担任制※実施状況」と「小中一貫教育の成果」

※教科担任制とは…教科ごとに指導する先生がかわる指導形態のことです。現在小山市では中学校以上でこの指導形態がとられており、より専門的でわかりやすい授業や、多くの先生との出会いなど、様々なメリットがあります。

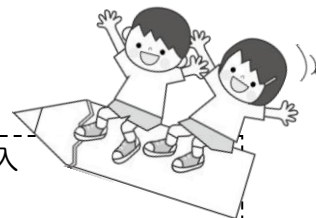
保護者や地域との関係

■ 大きな成果が認められる ■ 成果が認められる

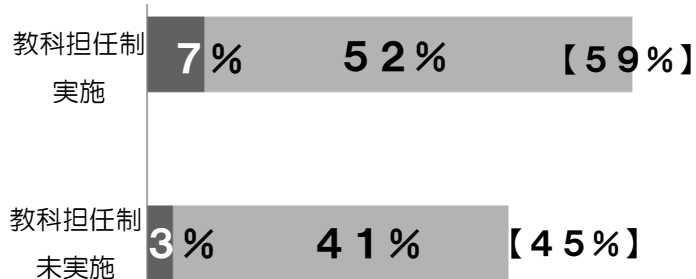
① 保護者の学校への満足度が高まった！



教科担任制を導入することにより、保護者の満足度が高まったり、保護者・地域との協働関係が強化されるなどの成果が報告されています。



② 保護者との協働関係が強化された！



③ 地域との協働関係が強化された！

